

# マイスターに聞く 溶接技能向上の 勘所



「ライバルと切磋琢磨をして技能を身に着けた。溶接士は十人十色。指導では型にはめないよう心がけている」と話す神鋼溶接サービスの金子和之氏（神奈川県藤沢市の金子和之氏。同社のCS推進部CSグループ長を務め、社内外への溶接指導などが評価され昨年の第1回日本溶接協会マイスター

金子和之氏（神鋼溶接サービス）

「若いうちに溶接を満喫して」

「若いうちに溶接を満喫して」

その後、念願だった試験室溶接班に溶接士として配属される。「班

果たす。当時は神戸怒鳴りつけられた経験

と振り返る。社内

（笑）」と語る。

## 第1回JWESマイスター認定 溶接は十人十色

色。指導では型にはめないよう心がけている」と話す神鋼溶接サービス（神奈川県藤沢市の金子和之氏。同社のCS推進部CSグループ長を務め、社内外への溶接指導などが評価され昨年の第1回日本溶接協会マイスター

員一人ひとり誇りが高製鋼グループ内で溶接技術を高めあう環境に話を聞いた。金子氏は1982年神戸製鋼所に入社。試験室ワイヤ試作班に配属され約3年間溶接ワイヤの試作業務を行

ったが、その後船級試験など重要な溶接を任された。溶接は工業高校時代に多少の経験がある。半自動溶接班に10

年、手溶接班に3年間在籍。その間に社内大異動。ユーザーに溶接材料の選定や施工の指導を行う業務に就

いた。最初の配属は実際に溶接をする仕事ではなかったが、ソリッドワイヤやFCWの製造工程など技術全般を学ぶことができた。度出場、95年の全国競

技会では被覆アーク溶接の不具合が発生の時に得た経験が自分接を満喫してほしいと語る。

「ライバルと切磋琢磨をして技能を身に着けた。溶接士は十人十色。指導では型にはめないよう心がけている」と話す神鋼溶接サービスの金子和之氏（神奈川県藤沢市の金子和之氏。同社のCS推進部CSグループ長を務め、社内外への溶接指導などが評価され昨年の第1回日本溶接協会マイスター

員一人ひとり誇りが高製鋼グループ内で溶接技術を高めあう環境に話を聞いた。金子氏は1982年神戸製鋼所に入社。試験室ワイヤ試作班に配属され約3年間溶接ワイヤの試作業務を行

ったが、その後船級試験など重要な溶接を任された。溶接は工業高校時代に多少の経験がある。半自動溶接班に10

年、手溶接班に3年間在籍。その間に社内大異動。ユーザーに溶接材料の選定や施工の指導を行う業務に就

いた。最初の配属は実際に溶接をする仕事ではなかったが、ソリッドワイヤやFCWの製造工程など技術全般を学ぶことができた。度出場、95年の全国競

技会では被覆アーク溶接の不具合が発生の時に得た経験が自分接を満喫してほしいと語る。